

平成 27 年秋「サシバ」の渡り調査

柳田一郎

〒 890-0034 鹿児島市田上 5-16-34

■ はじめに

毎秋、ワシタカの仲間「サシバ」は、日本列島北部や朝鮮半島などの繁殖地から列島の上空を群れとなって南下し、本土最南端の佐多岬から空を川のような一列になって南（八重山群島、フィリピン、インドネシアなど）へ渡っていく。

サシバ（鳥綱タカ目タカ科サシバ属）は、環境省レッドリストの絶滅危惧Ⅱ類（VU）に分類される。大きさはハシボソガラス程、翼が細長く、全長 47～51 cm、翼開長 100～110 cm に達する。九州から本州さらに北方（朝鮮半島北部から中国東北部）の林で繁殖、「ピクイー」という特徴的な声で鳴く。農地などで急降下してカエルやヘビを捕食する。夏の渡り鳥で、秋に列島の上空を通過する群れが見られ、南西諸島以南で冬を越すものが多い。

昭和 60 年代、佐多岬（田尻漁港）は日本野鳥の会鹿児島県支部の定例探鳥会の場所となり、上空を 1 日に最大 3 万羽を超えるサシバが渡っていた。しかし、アクセスが不便なため、平成年代にはいと探鳥会の場所が県立大隅広域公園に変わり、佐多岬における記録が残らなくなった。さらに、地元田尻の方々からの情報でも、かつてのような大空を流れるような渡りは見られなくなったと言われている。このため、昭和 60 年代に渡りのピークであった 10 月 10 日前後に佐多岬に滞在し、渡りを観察しながら情報を収集し、昭和 60 年代と比較した。

■ 調査

例年の渡りのピーク時期 3 日間、現地調査及び野鳥の会会員からの情報収集を行った。

- (1) 平成 27 年 10 月 10 日（土）金峰山現地調査
- (2) 10 月 11 日（日）金峰山 日本野鳥の会鹿児島主催「金峰山探鳥会」の情報提供
- (3) 10 月 11 日と 12 日（月、体育の日）佐多岬（田尻漁港）で現地調査
- (4) 10 月 12 日（月）大隅広域公園 日本野鳥の会鹿児島主催「大隅広域公園探鳥会」の情報提供

■ 調査結果

金峰山（南さつま市金峰町）

10 月 10 日 08:00～13:00 晴時々曇、風が逆強風、南下には不適な天候のため、飛ばず。

10 月 11 日 08:00～13:00 晴時々曇、10:00～12:00 強風、タカ柱が立つ。800 羽。

佐多岬

10 月 11 日 05:00～13:00 前夜暴風雨、明け方雨やむ。終日海からの強い逆風。9 羽。

10 月 12 日 05:00～12:00 晴、終日海からの強い逆風。27 羽。

200～300 羽のヒヨドリの群れが盛んに周囲を飛び回る。サシバの渡る気配なし。

県立大隅広域公園（鹿屋市吾平町）

10 月 12 日 06:20～10:00 晴、52 名の参加者が歓声をあげ、大きなタカ柱立つ。2,274 羽。

※参考情報 1. 金御岳（宮崎県都城市）・・・「金御岳サシバ渡り情報」ホームページから。

10 月 10 日 06:00～15:00 曇。7 羽。

10 月 11 日 06:00～15:00 曇のち晴。80 羽。

10 月 12 日 06:00～15:00 晴のち曇。640 羽。

※参考情報 2. 後日の南大隅町の友人からの情報でも、例年規模の渡りは見られなかった。

■ 考察

平成 27 年秋、佐多岬においては、例年のピークの時期は強い逆風が吹き、渡りには不向きな天候だったことから、南下する大規模な渡りは確認できなかった。観察場所により、渡りの数に大きな差があった。宮崎県金御岳のデータによると、今年の渡りのピークは、9 月末日から 10 月最初の週であったことが予想される。27 年は秋の訪れが早いと感じたことと関係があると思われた。

以上のことから、本年は渡りのピークが一週間程度早かった可能性がある。なお、これまでの実績から考えると、大隅半島鹿屋市の県立大隅広域公園が、サシバ出現の頻度が相当に高い場所であることが判明したと考える。

■ 最後に

2 年前に鹿児島県を退職しましたが即時再任用となり引き続き勤務しているため、やっと確保で

きた休日でした。しかし、過去のような大規模な渡りは観察できませんでした。そのかわり、地元の方々との新しいつながりが生まれ、来年以降の調査継続への大きな契機となりました。

なお、佐多岬へ至る道路が町有化され、新たな開発が着手されました。この開発が、サシバをはじめとする野生動物や豊かな亜熱帯植物の世界と適切にふれあえる場所にふさわしい開発となり、新しい展望台でサシバの観察が続けられることを願います。

最後に、助成をいただいた鹿児島県自然環境保全協会事務局、同時進行的に渡り情報をいただいた日本野鳥の会鹿児島（旧鹿児島県支部）の皆さん、さらに情報や調査の合間に差し入れまでくださった地元南大隅町の皆さんに感謝を申し上げます。

Nature of Kagoshima 42: 511–512